

判 定 結 果	適 合 状 況	措 置 状 況
整 備 基 準	合 ・ 否	指 導 ・ 助 言
表示板交付基準	合 ・ 否	――

※ この欄は記入しないでください。

整備基準チェックリスト

記入方法

- 「設計内容」欄は、該当する整備項目について、必要な数字または措置の内容等を記入してください。
- 「適合状況」欄は、該当するものを○で囲んでください。

記 入 例

設 計 内 容	適 合 状 況
(突出物) ☒ 有 ・ 無	☒ 合 ・ 否
(安全な措置) ☒ 有 ・ 無	

整備項目	条 件	整 備 基 準	設 計 内 容	適 合 状 況
【P97・P103・P113】参照	(1) 利用円滑化経路（利用居室又は住戸等から道等、車椅子使用者用便房、車椅子使用者用駐車施設に至る経路のそれぞれ1以上）	① 階段又は段を設けない （設ける場合は傾斜路又はエレベーターその他の昇降機を併設） ※ 利用円滑化経路・・・居室又は住戸等（不特定多数の者が利用し、又は主に障がい者、高齢者等が利用するものを除く）が地上階又は直上階若しくは直下階のみにある場合は、地上階のものまでの経路（以下同じ）	(段の有無) 有 ・ 無 (講じた措置) ・ 傾斜路 ・ EV ・ 無し ・ その他（ ）	合・否
1 出入口 【P101】参照	(1) 利用円滑化経路上にある出入口（車椅子使用者用便房に通じる出入口を含み、直接客室・住戸等へ通ずるものを除く。）	① ・ 外部出入口幅 90cm 以上 ・ 内部出入口幅 80cm 以上 ② 自動扉又は車椅子使用者が開閉し通過しやすい戸 ③ 戸の前後に、段など高低差がない（水平） ④ ・ 戸にガラスを使用する場合は安全な材種を使用 ・ 全面ガラスとする場合は、視覚障がい者の衝突防止のための措置を講ずる	(内法幅) cm ----- (内法幅) cm (開閉方法) (そで壁) 有 ・ 無 (段の有無) 有 ・ 無 (段差) cm (水平部分) 有 ・ 無 (材種) ・ 強化ガラス ・ その他（ ） (講じた措置) (設置高さ) cm	合・否 合・否 合・否 合・否
2 廊下等 【P103】参照		① 滑りにくい仕上げ ② 壁面に突出物を設置しない。設置する場合は視覚障がい者の通行の安全上支障がない措置 ③ 必要に応じ手すりを設置 ・ 手すりは端部が突出しない構造。不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用するものは、必要に応じ点字表示	(仕上げ材) (突出物) 有 ・ 無 (講じた措置) (手すり) 有 ・ 無 (講じた措置)	合・否 合・否 合・否
	・ 勾配≦1/20 の傾斜、又は高さ≦16 cmで勾配≦1/12 の傾斜を除く ・ 自動車車庫、駐車場を除く	④ 階段の上端及び下端又は傾斜の上端に近接する廊下等に視覚障害者誘導用ブロック	(点字ブロック) 有 ・ 無 (階段の有無) 有 ・ 無 (傾斜) 勾配 / 高さ cm	合・否
	(1) 利用円滑化経路を構成する廊下等	① 幅 140 cm以上、末端付近及び 50m 以内ごとに車椅子転回スペースを設ける場合は幅 120cm 以上 ② 自動扉又は車椅子使用者が開閉し通過しやすい戸	(内法幅) cm (転回部) 有 ・ 無 (開閉方法) (そで壁) 有 ・ 無	合・否 合・否

整備項目	条 件	整 備 基 準	設 計 内 容	適合状況
2 廊下等 【P103】 参照		③ 戸の前後に高低差がない（水平）	(段の有無) 有 ・ 無 (段差) cm (水平部) 有 ・ 無	合・否
	(2) 不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用する廊下に案内所等を設ける場合の、外部出入口から案内所等までの経路の1以上（7(3)と一体整備するもののうち、廊下部分の構造）	① 視覚障害者誘導用ブロックの敷設又は音声その他の視覚障がい者誘導設備を設置。次の場合を除く。 ・直進の風除室内 ・自動車車庫、駐車場の場合 ・管理人が常駐し、人的対応が可能な場合	(案内所等) 有 ・ 無 ※有の場合は下記を記入 (案内所等の場所) (誘導設備) 有 ・ 無 (講じた措置)	合・否
3 階段 【P112】 参照	その踊場を含む	① 段がある部分の両側に手すりを設置（踊場には必要に応じて設置） ・ 手すりは端部が突出しない構造、不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用するものは、必要に応じ点字表示	(両側手すり) 有 ・ 無 (講じた措置)	合・否
		② 滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		③ 段鼻は段を識別しやすい色	(講じた措置)	合・否
		④ つまづきにくい構造	(講じた措置)	合・否
		⑤ 主たる階段は回り段としない	(回り段) 有 ・ 無	合・否
		⑥ 縁端は壁又は事故防止の立ち上がり（5 cm以上）	(講じた措置) (立ち上がり) cm	合・否
		⑦ 高齢者、障がい者等が昇降しやすい段の幅、けあげ・踏面・踊場の幅	(段の幅) cm (けあげ) cm (踏面) cm (踊場の幅) cm	合・否
	不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用するもの（自動車車庫・駐車場を除く） （段の部分と連続して手すりを設けた場合を除く）	⑧ 上端及び下端に近接する踊場に視覚障害者誘導用ブロックを敷設	有 ・ 無 (講じた措置)	合・否
4 傾斜路 【P105】 参照	階段に代わり、又はこれに併設するものに限る。 その踊場を含む	① 傾斜（勾配>1/12 又は高さ>16 cm）がある部分の両側に手すりを設置、その他の部分には必要に応じて設置 ・ 手すりは端部が突出しない構造、不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用するものは、必要に応じ点字表示	(両側手すり) 有 ・ 無 (勾配) / (高さ) cm (講じた措置)	合・否
		② 滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		③ 傾斜の前後の水平部分（廊下、踊場等）と識別しやすい色	(講じた措置)	合・否
		④ 始末端部、曲がり角、折り返し、他の通路との交差部に踏幅 150 cm以上の水平部分	(踏幅) cm	合・否
		⑤ 縁端は壁又は事故防止の立ち上がり（5 cm以上）	(講じた措置) (立ち上がり) cm	合・否

整備項目	条 件	整 備 基 準				設 計 内 容	適合状況
4 傾斜路 【P105】 参照	・勾配 $\leq 1/20$ の傾斜、又は高さ ≤ 16 cmで勾配 $\leq 1/12$ の傾斜を除く ・傾斜の部分と連続した手すり設けた場合又は自動車車庫・駐車場に設けるものを除く	⑥ 上端に近接する踊場に視覚障害者誘導用ブロックを敷設				(手すり) 有 ・ 無 (講じた措置) (勾配) ／ (高さ)	

整備項目	条 件	整 備 基 準				設 計 内 容	適合状況	
5 エレベーター 【P108】 参照	※・・・ 不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用する場合に整備（自動車車庫、駐車場に設けるものを除く）	⑫ 視覚障がい者が円滑に操作できる制御装置	※		※	(点字表示等) 有 ・ 無	合・否	
		⑬ 昇降方向の音声表示装置	※	●	※	●	有 ・ 無	合・否
		⑭ 乗降ロビーの制御装置に視覚障害者誘導用ブロック	※		※		有 ・ 無	合・否
		⑮ 利用しやすいかごの大きさ (3) 間口 140 cm×奥行き 135 cm以上 (4) 奥行き 135 cm以上			●	●	(内法寸法) cm× cm	合・否
6 便所 【P115】 参照	(1) 多数の者が利用し、又は主に障がい者、高齢者等が利用する便所を設ける場合	① 車椅子使用者用便房を 1 以上設置				(車椅子用) 有 ・ 無 (設置場所)	合・否	
		② 人工肛門又は人工ぼうこうを使用している者がパウチやしびんの洗浄ができる水洗装置を備えた便房を 1 以上設置 (2,000 m ² 以上の建築物)				(オストメイト対応) 有 ・ 無 (設置場所)	合・否	
		③ 車椅子使用者用便房がある旨の表示				有 ・ 無	合・否	
		④ 段を設けない				有 ・ 無	合・否	
		⑤ 床面は滑りにくい仕上げ				(仕上げ材)	合・否	
	(2) 車椅子使用者用便房の構造	① 腰掛便座の両側に手すりを設置				(両側手すり) 有 ・ 無	合・否	
		② 腰掛便座はできる限り前方・両側から移乗しやすい位置に設置				(講じた措置)		
		③ 車椅子使用者の利用に十分な空間の確保				(内接円) 内接円 直径 cm	合・否	
		④ 洗浄装置は操作が容易なもの				(装置) 式	合・否	
		⑤ 施設管理者等へ通ずる非常用呼出装置				有 ・ 無	合・否	
		⑥ 荷物台を設置				有 ・ 無 (設置高さ) cm	合・否	
		⑦ 施錠・開錠が容易な施錠装置				(施錠方法)	合・否	
		(3) 多数の者が利用し、又は主に障がい者、高齢者等が利用する男子用小便器を設ける場合	① 1 以上を手すりがある床置きその他これに類する小便器				(手すり) 有 ・ 無 (床置き等) 有 ・ 無 (設置場所)	合・否

整備項目	条 件	整 備 基 準	設 計 内 容	適合状況
6 便所 【P115】 参照	(4) 不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用する便所	① 必要に応じ、出入口又はその付近に点字案内	有 ・ 無	
	(5) 2,000 m ² 以上の建築物	① 不特定多数の者が利用する便所を設ける場合 1 以上に乳児用椅子又は乳児用ベッドを設置	有 ・ 無	合・否
7 敷地内の 通路 【P96】 参照	段がある部分	① 滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		② 排水溝には、杖、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造の溝ふた	(排水溝の有無) 有 ・ 無 (ふたの目幅) cm	合・否
		③ 両側に手すりを設置 ・ 手すりは端部が突出しない構造、不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用するものは、必要に応じ点字表示	(両側手すり) 有 ・ 無 (講じた措置)	合・否
		④ 段鼻は段を識別しやすい色	(講じた措置)	合・否
		⑤ つまづきにくい構造	(講じた措置)	合・否
		⑥ 縁端は壁又は事故防止の立ち上がり	(講じた措置) (立ち上がり) cm	合・否
		⑦ 高齢者、障がい者等が昇降しやすい段の幅、 けあげ・踏面・踊場の幅	(段の幅) cm (けあげ) cm (踏面) cm (踊場の幅) cm	合・否
		⑧ 傾斜 (勾配>1/12 又は高さ>16 cm でかつ勾配>1/20) がある部分の両側に手すりを設置、その他の部分には必要に応じて設置 ・ 手すりは端部が突出しない構造、不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用するものは、必要に応じ点字表示	(両側手すり) 有 ・ 無 (勾配) / (高さ) cm (手すり) 有 ・ 無 (講じた措置)	合・否 合・否
	傾斜路	⑨ 傾斜の前後の水平部分と識別しやすい色	(講じた措置)	合・否
		⑩ 始末端部、曲がり角、折り返し、他の通路との交差部に踏幅 150cm 以上の水平部分	(踏幅) cm	合・否
		⑪ 縁端は壁又は事故防止の立ち上がり	(講じた措置) (立ち上がり) cm	合・否
		① 幅 140 cm 以上。不特定多数の者が利用し、又は主に障がい者、高齢者等が利用するものは 180cm 以上	(幅員) cm	合・否
	(1) 利用円滑化経路を構成する敷地内の通路	② 戸は 1 ②③④の構造		合・否
	(2) 利用円滑化経路を構成する敷地内の通路の傾斜路	① 幅 140 cm 以上。不特定多数の者が利用し、又は主に障がい者、高齢者等が利用するものは 180cm 以上、段併設の場合 90 cm 以上	(内法幅) cm (段併設) 有 ・ 無	合・否
		② 勾配 1/20 以下 (消融雪装置設置の場合 1/12 以下)	(勾配) / (消融雪装置) 有 ・ 無	合・否
		③ 高さ 50 cm 以内ごとに踏幅 150 cm 以上の踊場	(高さ) cm (踏幅) cm	合・否

整備項目	条 件	整 備 基 準	設 計 内 容	適合状況
7 敷地内の 通路 【P96】 参照	(3) (自動車車庫・駐車場を除く) 案内所等を設ける場合は、道等から案内所等までの経路の1以上、案内所等を設けない場合は、道等から外部出入口までの経路の1以上 ※ 不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用する経路に限る	① 視覚障害者誘導用ブロックの敷設又は音声その他の方法の視覚障がい者誘導設備	有 ・ 無 (講じた措置)	合・否
		② 次の部分に視覚障がい者誘導用ブロック (警告ブロック) を敷設 ・ 車路に近接する部分 ・ 段の上端及び下端、又は傾斜の上端に近接する部分 (勾配 $\leq 1/20$ の傾斜、又は高さ ≤ 16 cmかつ勾配 $\leq 1/12$ の傾斜の場合、段又は傾斜と連続して手すりを設置する踊場の場合を除く。)	(警告ブロック) 有 ・ 無 (傾斜) 勾配 / 高さ cm (講じた措置)	合・否
8 駐車場 【P123】 参照	多数の者が利用し、又は主に障がい者、高齢者等が利用する駐車場を設ける場合、車椅子使用者用駐車区画を設置 ----- 共同住宅等に設けるものを除く	① 区画は1以上 (駐車区画総数が 100 を超える場合は、1/100 以上) 設置	(全区画数) 台 (内、車椅子用) 台	合・否
		② 幅 350 cm以上、奥行き 600cm 以上	(幅) cm (奥行き) cm	合・否
		③ 利用居室又は建物出入口に近いところに設置	(近い位置) 有 ・ 無	合・否
		④ 当該部分又はその付近に車椅子使用者用である旨を積雪等に配慮し見やすく表示	(表示) 有 ・ 無 (講じた措置)	合・否
		⑤ 駐車場の出入口付近に、車椅子使用者用区画がある旨を積雪等に配慮し表示し、入口から区画までを誘導	(表示) 有 ・ 無 (誘導) 有 ・ 無 (講じた措置)	合・否
9 エスカレーター 【P125】 参照	不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用するもの	① 移動手すりの水平部分 120cm 以上、これと連続する固定両側手すり	(移動手すり水平部分) cm (固定両側手すりの有無) 有 ・ 無	合・否
		② 踏み段、くし板の表面は滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		③ 踏み段端部とその周辺の明度差を大きく	(講じた措置)	合・否
		④ 乗降口に視覚障害者誘導用ブロックを敷設、固定手すりに誘導等の点字表示	(ブロック) 有 ・ 無 (点字表示) 有 ・ 無	合・否
10 洗面所 (客室に設けるものを除く) 【P127】 参照	多数の者が利用し、又は主に障がい者、高齢者等が利用する洗面所	① 段を設けない	有 ・ 無	合・否
		② 床面は滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		③ 車椅子使用者が利用しやすい高さの洗面器、鏡	(洗面器) 有 ・ 無 (鏡) 有 ・ 無 (設置場所)	合・否
		④ 両側手すりの設置・操作しやすい水栓器具	(両側手すり) 有 ・ 無 (器具の仕様) (設置場所) (吐水口の位置) cm	合・否
11 浴室、シャワー室、脱衣室及び更衣室 【P129】 参照	病院、ホテル、老人ホーム等、老人福祉センター等、運動施設、公衆浴場に設ける、多数の者が利用し、又は主に障がい者、高齢者等が利用するものの1以上	① 段・階段を設けない(やむを得ない場合を除く)。	(段) 有 ・ 無	合・否
		② 床面は滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		③ 必要に応じ、手すりを設ける		
		④ 車椅子使用者が利用できる十分な空間を確保	(空間)内接円 直径 cm	合・否
		⑤ 浴槽の縁の高さは、障がい者・高齢者に配慮したもの	(高さ) cm	合・否

整備項目	条 件	整 備 基 準	設 計 内 容	適合状況
1 1 浴室、シャワー室、脱衣室及び更衣室 【P129】 参照		⑥ 浴室・シャワー室に椅子を設ける	有 ・ 無	合・否
		⑦ 障がい者、高齢者等が容易に操作できる水栓器具	(器具の仕様)	合・否
		⑧ 更衣室・脱衣室に、車椅子使用者が利用しやすい脱衣ベンチ	有 ・ 無	合・否
1 2 客室 【P132】 参照	(1) 宿泊施設(床面積 2,000 m ² 未満のものを除く)に設けるもの	① 客室数(客室の総数が 50 室以上のものに設ける客室のうち、当該客室の総数に 100 分の 1 を乗じて得た客室数以上)	(全客室数) 室 (車椅子用) 室 (設置場所)	
		② 車椅子使用者が利用できる十分な空間を確保	(空間) cm× cm 内接円 直径 cm	合・否
		③ ベッド、手すりを適切に設置	有 ・ 無	合・否
		④ 室内の出入口幅 80cm 以上	(幅) cm	合・否
		⑤ 室内の戸は障がい者、高齢者等が容易に開閉できる構造、戸の前後に高低差がない	(戸の構造) (高低差) 有 ・ 無	合・否
		⑥ 車椅子使用者が利用しやすいスイッチ	コンセント(ベッド周辺のものを除く) cm ベッド周辺のスイッチ・コンセント cm インターホン・モニター cm	合・否
		⑦ 便所は 6 (1)④⑤、(2)①～⑦の構造	有 ・ 無	合・否
		⑧ 洗面所は 10 の構造	有 ・ 無	合・否
		⑨ 浴室は 1 1 ②～⑧、段を設けない、非常用呼出装置を設ける	(段) 有 ・ 無 (呼出装置) 有 ・ 無	合・否
		⑩ ファクス、点字付き電話等、視覚障がい者・聴覚障がい者に配慮	(講じた措置)	合・否
		⑪ 聴覚障がい者に配慮した非常警報装置	有 ・ 無	合・否
	廊下へ通ずる出入口	・出入口幅 80cm 以上、1 ②③④の構造		合・否
	(2) (1)の客室の設置場所	・非常時に避難しやすい場所に設置	(講じた措置)	合・否
1 3 観覧席等 【P136】 参照	(1) 劇場等、集会場等、運動施設に多数の者が利用し、又は主に障がい者、高齢者等が利用する観覧席や客席を設ける場合	① 原則として、観覧席等の 2 以上(観覧席総数が 200 を超える場合は 1/100 以上)を車椅子使用者用席とする	(全観覧席数) 席 (車椅子使用者席数) 席	合・否
		② ①の床は水平		合・否
		③ ①の席は、幅 90cm 以上、奥行き 120cm 以上	(幅) cm (奥行き) cm	合・否
	(2) 観覧席の出入口(利用円滑化経路上のもの)から(1)の席までの通路	① 幅 140cm 以上	(幅) cm	合・否
		② 表面は滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		③ 階段・段を設けない	(段) 有 ・ 無	合・否

整備項目	条 件	整 備 基 準	設 計 内 容	適合状況
1 3 観覧席等 【P136】 参照		④ 傾斜路は、次の構造		合・否
		・ 始末端部、曲がり角、折り返し、他の通路との交差部に踏幅 150cm 以上の水平部分	(踏幅) cm	合・否
		・ 縁端は壁又は事故防止の立ち上がり	(講じた措置) (立ち上がり) cm	合・否
		・ 勾配 1/12 以下	(勾配) /	合・否
		・ 高さ 75 cm以内ごとに踏幅 150 cm以上の踊場	(高さ) cm (踏幅) cm	合・否
	(3) (1) の施設に設ける不特定多数の者が利用する観覧席	・ 補聴装置を 1 以上設け、その旨を表示	(補聴装置) 有 ・ 無 (表示) 有 ・ 無	合・否
1 4 公衆電話の設置場所 【P141】 参照	公衆電話を設ける場合	① 出入口幅 80cm 以上	(幅) cm	合・否
		② 開閉しやすい戸	(開閉方法)	合・否
		③ 通過に支障となる段を設けない	(最大段差) cm	合・否
		④ 車椅子使用者が利用しやすい高さ、下部の空間	(高さ) cm (空間) 有 ・ 無	合・否
		⑤ 難聴者、視覚障がい者が利用しやすい電話機		合・否
1 5 カウンター等 【P143】 参照	カウンター・記載台を設ける場合、1 以上	① 車椅子使用者が利用しやすい高さ、下部に空間	(高さ) cm (空間) 有 ・ 無 (設置場所)	合・否
1 6 案内設備 【P145】 参照	(1) 案内設備を設ける場合	① 高さ、文字の大きさ、表示内容に配慮	(高さ) cm (設置場所)	合・否
		② 必要に応じ、点字表示又は音声案内等を設置	(点字表示等の有無) 有 ・ 無	
		③ 案内用図記号は、できる限り JIS に定めるもの		
		④ 敷地内通路に設ける場合、積雪等に配慮	(講じた措置)	合・否
	(2) 呼び出しを行う案内設備の場合	・ 音声、文字等により呼出しを行うもの	(講じた措置)	合・否
1 7 改札口及びレジ通路 【P147】 参照	設ける場合、1 以上	① 幅 90cm 以上	(内のり幅) cm	合・否
		② 通過に支障となる段を設けない	(最大段差) cm	合・否
		③ 床面は滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)	合・否
		④ 必要に応じ、視覚障害者誘導用ブロックを敷設	(講じた措置)	
1 8 券売機等 (券 売機、自動販売機、現金預入・支払機) 【P149】 参照	(1) 設ける場合、1 以上	① 利用しやすい位置		合・否
		② 車椅子使用者が利用しやすい高さ及び下部に空間	(高さ) cm (空間) 有 ・ 無	合・否
		③ 操作ボタン、金銭投入口・取出口等は利用しやすい構造	(仕様)	合・否
	(2) 視覚障がい者が利用しやすい券売機等を設置する場合	④ 視覚障がい者が利用しやすい券売機等を設置する場合、視覚障害者誘導用ブロックを敷設	(視覚障がい者対応機) 有・無 (誘導用ブロック) 有・無	合・否

整備項目	条 件	整 備 基 準	設 計 内 容	適合状況
19 授乳及び おむつ替 えの場所 【P151】 参照		① 必要に応じ、授乳及びおむつ替えの場所を 設け、ベビーベッドを設置	(場所) 有・無 (ベビーベッド) 有・無	
		② ①の場合、設置の旨を見やすい方法で表示	(表示) 有 ・ 無	合・否
20 緊急避難 設備 【P139】 参照	ホテル(3,000 m ² 以上)、 老人ホーム等、老人福祉 センター等に設けるも の	① 光、文字、音声等による火災報知設備と連 動した誘導灯	(点滅装置、誘導音付誘導灯) 有 ・ 無	合・否
		② 一斉放送できる設備	有 ・ 無	合・否
21 水飲み場 【P153】 参照	設ける場合、1以上	① 利用しやすい位置		合・否
		② 車椅子使用者が利用しやすい高さ及び下部 に空間	(空間) cm× cm	合・否
		③ 操作しやすい水栓器具	(水栓器具の仕様)	合・否
		④ 床面は滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)	合・否
22 視覚障害 者誘導用 ブロック 【P155】 参照		① 原則 JIS に定める形状	(形状)	合・否
		② 原則として黄色。周囲の床材と明度の差の 大きい色	(色) (周囲の色)	合・否
		③ 十分な強度、ぬれても滑りにくく、耐久性 がある	(材種)	合・否
		④ できる限り直線的に、連続的に設置		
		⑤ 壁・床に突出物がある場合、適切な距離を 確保して敷設		合・否

特定適合施設表示板交付基準

整備項目	条 件	整 備 基 準				設 計 内 容		適合状況	
2 3 利用円滑化経路 【P92】参照	利用円滑化経路（利用居室又は住戸等から道等、車椅子使用者用便房、車椅子使用者用駐車施設に至る経路のそれぞれ1以上）	建築物内にある、すべての居室又は住戸までの経路を、利用円滑化経路に整備						合・否	
2 4 駐車場 【P123】参照		8の駐車場を1以上設ける。						合・否	
2 5 エレベーター 【P108】参照	利用円滑化経路を構成するエレベーター及びその乗降ロビーのそれぞれ1以上 （かごの停止階は利用居室、車椅子使用者用便房又は車椅子使用者用駐車施設がある階及び地上階とする） (1) 教育施設、共同住宅等を除く 2,000 m ² 以上の建築物に設けるもの (2) 2,000 m ² 以上の教育施設、共同住宅等に設けるもの (3) 教育施設、共同住宅等を除く 2,000 m ² 未満の建築物に設けるもの (4) 2,000 m ² 未満の教育施設、共同住宅等に設けるもの ※・・・不特定多数の者が利用し、又は主に視覚障がい者が利用する場合に整備（自動車庫車、駐車場に設けるものを除く）	構 造	整備必要項目				エレベーターの仕様 □(1) □(2) □(3) □(4)		
			(1)	(2)	(3)	(4)			
		① かごの床面積 1.83 m ² 以上	●	●			(床面積)	m ²	合・否
		② 車椅子の転回に支障ないかごの形状	●	●			(かごの間口)	cm	合・否
		③ 出入口幅 80cm 以上	●	●	●	●	(内法幅)	cm	合・否
		④ かごの奥行き 135cm 以上	●	●			(かごの奥行)	cm	合・否
		⑤ 乗降ロビー 150cm×150cm 以上 (高低差なし)	●	●	●	●	(内法寸法) (高低差)	cm× 有 ・ 無	合・否
		⑥ 車椅子使用者が利用しやすい制御装置	●	●	●	●	(装置の高さ)	cm	合・否
		⑦ かご内に停止予定階、現在位置の表示装置	●	●	●	●	有 ・ 無		合・否
		⑧ 乗降ロビーにかごの昇降方向の表示装置	●	●	●	●	有 ・ 無		合・否
		⑨ かごの両側に手すり	●	●	●	●	有 ・ 無		合・否
		⑩ かご内に鏡を設置（出入口が複数あり、車椅子使用者が円滑に乗降できるものを除く。）	●	●	●	●	有 ・ 無		合・否
		⑪ かご内に到着階、出入口閉鎖を音声表示装置	※	●	※	●	有 ・ 無		合・否
		⑫ 視覚障害者が円滑に操作できる制御装置	※		※		(点字表示等)	有 ・ 無	合・否
		⑬ 昇降方向の音声表示装置	※	●	※	●	有 ・ 無		合・否
		⑭ 乗降ロビーの制御装置に視覚障害者誘導用ブロック	※		※		有 ・ 無		合・否
		⑮ 利用しやすいかごの大きさ (3) 間口 140 cm×奥行き 135 cm以上 (4) 奥行き 135 cm以上				●	●	(内法寸法) cm× cm	合・否

規模又は構造、地形の状況等により、整備基準に適合させることが著しく困難な整備項目がある場合、記入してください。

整備項目	整備基準に適合しない理由	設計内容	代替措置等